

2021年(令和3年)度事業報告

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人和気サンシュユの会

1 事業の総括

昨年につきコロナ禍の中での活動ということで、花見会・収穫祭・薬膳部会などの行事は前年度同様、休止もしくは縮小せざるを得ませんでした。一方では「薬木山茱萸」の育成管理はほぼ予定通り行う事ができました。木も大きく育ち、実の収穫も数百キログラムを見込めるまでになりました。

会員の皆様にお知らせできる最大のニュースは、この3月18日に一般社団法人「日本薬用機能性植物推進機構」の渡辺理事長(千葉大学園芸学部教授)と佐橋理事(北里大学東洋医学総合研究所薬剤部)に、和気のサンシュユ圃場を視察いただいたことです。その際に会が今後とるべき方向を示唆していただいたり、特筆すべきことは、令和4年度産から生薬を北里大学へ納入できることになったことです。

結成10周年の記念すべき年に、会の将来をどうしていくか、非常に重要な課題に直面したところです。あらゆる選択肢の中から最善のものを選ぶ時期に達した感があります。

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所と 主な作業	従事者の 人数	受益対象 者の範囲 及び人数	支出額 (円)
山茱萸育苗・栽培 事業	山茱萸芽接ぎ 作業(秋) 山茱萸種の採 取土中保存、 播種、施肥、 灌水、剪定、 草刈、収穫、 土壌調査、苗 木移植、排水 工事	6月12日	<薬草園> 薬草園草刈り	8人	関心ある 不特定 多数	381,650
		8月7日	薬草園草刈り	12人		
9月6日	薬草園自走機草刈	1人				
9月30日	山茱萸収穫量調査	2人				
10月16日	山茱萸実試験採取	2人				
23日・30日 31日	山茱萸実採取	延べ25人				
11月6日						
10日						
12月12日	取残山茱萸実採取	7人				
1月20日	植栽数調査	2人				
2月5日	剪定・施肥作業	9人				
			<市倉地区> 耕作放棄地			
7月10日	市倉圃場草刈り	12人				
7月31日	市倉圃場灌水作業	3人				
9月10日	市倉自走機草刈	1人				
9月11日	市倉圃場草刈り	13人				
9月30日	山茱萸収穫量調査	2人				
10月10日	山茱萸実採取	6人				
1月20日	植栽数調査	2人				
2月5日	施肥作業	7人				
2月6日	若木定植8本	12人				
2月6日	剪定					

小計

381,650

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所と 主な作業	従事者の 人数	受益対象 者の範囲 及び人数	支出額 (円)
山茱萸から産出される花、果実、葉などを用いた製品開発・製造及び販売事業	山茱萸生薬、茶、山茱萸酒、山茱萸クッキーなど試作研究、市場調査、製造販売及び山茱萸染製品の試作	12月12日	山茱萸実採取	7人	臨床使用 不特定 多数	
		2月14日	北里大学東洋医学総合研究所薬剤部へ山茱萸生薬1kg及び生実をサンプルとして送付。	10人		
		3月18日	日本薬用機能性植物推進機構渡辺理事長佐橋理事山茱萸圃場を視察。会の取るべき方向など示唆頂く 北里大学が和気産山茱萸生薬採用決定			
山茱萸から産出される花、果実、葉などを用いた製品開発・製造及び販売事業	山茱萸の実・葉・木その他植物を使った染の研究	随時	定国工房	6人/回	参加者家族及び不特定多数	
山茱萸の啓蒙のための出版・講演会などの事業	収穫祭 収穫作業	11月中旬	<薬草園> 収穫祭中止			36,054
	花見会	3月5日 ～ 27日	RSKTV・NHKTV取材 和気のサンシュユ放送される	15人	来園者 250人	
	会報又は パンフ発行	適当な時期	法人事務所			27,600
	HP 管理	随時	http://wake-sansyuyu.org/		不特定 多数	
	薬草園の山茱萸収穫祭及び花見会開催を報道各社へ連絡			理事 2人	岡山県 不特定 多数	
山茱萸等を活用した薬膳の普及事業	地産の野菜・薬草等を使った料理教室	コロナ禍 で中止	藤野会館		参加者家族及び不特定多数	

小計 63,654
合計 445,304

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所と 主な作業	従事者の 人数	受益対象 者の範囲 及び人数	支出額 (円)
なし	なし					